

- 中嶋先生はいつもスライドや資料も写真に撮っていいと言ってくださいるのでありがたいです。
- マンダラートの使い方がわかり、今までモヤモヤしていたものがクリアになった。
- 以前も講演を聞いた事があるのですが、授業に取り入れられていないことに気づいたので、まず基本本文の徹底とマンダラチャートから取り入れていきたいです。
- 今回はとてもタメになる話、本当にありがとうございました。思考ツールを活用し、子どもたちに自分で考える力を育ててまとめて深めることができるよう、今後活用させていただきたいです。ありがとうございました。
- 実際に表現活動を体験してやり方を理解できたのが良かったです。
- 衝撃でした。もっと詳しく聞きたいです。
- 自分が目指している授業に向けて、たくさんのヒントを得ることができました。
- 早速学校で情報共有したいと思います。
- 刺激的で自分もしっかりしないと!と思わされました。
- 中嶋先生のホームページや文書を見てちゃんと勉強したいと思います。"
- マンダラチャート、マッピングを取り入れます
- チャートを使って思考を想像し、何も見ずに言えるようになる体験ができて自分も活用したいと強く思いました。
- それぞれの活動が目的化することなく、その活動で何を身につけさせたいのかを常に念頭におく必要があると理解した。また、話す手立てとしてマンダラチャートからマッピングまで一貫した取り組みを行うことが大切であると学んだ。
- 今、ICT ツールの研究を進めているが、思考ツールも ICT ツールも同じように使うことが目的化してはいけない、生徒にどのような力をつけさせたいのか、学習指導要領に書いてあることをよく読み、つけさせたい力を狙ってツールを使う必要性を改めて感じました。生徒がワクワクする授業をデザインするモチベーションが上がりました。ありがとうございました。
- 研究を重ねてこられたメソッドに自分もやって見ようかなと感じました
- 大切なことばかりでとても心に響くものでした。本日はありがとうございました。
- 非常に有意義な内容でした。改めて授業作りを考えたいくなりました
- 自分が行なっていることとあまりにも違って、実践できるかはわからないが、できることからチャレンジしたい。
- 子どもたちが即興で英語を話すためにやっておかなければならない準備を怠っていた自分に反省しました。また、ALT とのチームティーチングのために ALT のことをしっかりと知るところから始めます。
- 明日からの実践にいかしたい。自分でやってみて、どういう思考になっているのか分かった
- 昨年度より、より理解が深まりました
- "毎回興味深い話で面白かったが、マンダラチャートでわたしの家族の特別な日というお題は私自身答えられない。家族はいろいろあるから、大人な顔して有る事無い事でその場をやり過ごすことはできなかった。
- 私自身がマンダラチャートを使った授業をしたことがなかった。しかし、講演を聞いて明日から授業で使いたいと感じた。
- 自身の授業を振り返ることができました。スイッチを押されたような気がしました。
- 具体的なお話が多くて、今後の英語教育の推進に役立つと思いました。
- 授業の考え方から変わりました。歳を重ねるうちに決まりきった型をどうするかばかり考えて広げることができていなかったと思いました。
- スイッチが入りました
- 実際の授業の様子をもとに、キーとなる取り組みを焦点化して講義を聴くことができ、とても学びの多い内容でした。
- 昨年も講演を拝聴しましたが、毎回大きな気づきをいただいています。
- "中嶋先生の著書を読ませていただき、また講義を受けさせていただいたこともあり、今回またこの場でお話を聞かせていただけて改めて身が引き締まる思いでした。
- 表現したい気持ちを引き出すこと、思いを形にすること、それを表現するための言葉やつなぎ方を与えて選ばせること、

浮き輪をはずさせるまでのステップなど、中嶋先生のメソッドを実際実践されている先生方の授業を見せていただき、一つ一つの場面を作る指示、準備など、見せていただいたすべてに学びがありました。

- 先生のメソッドを実践されている先生方が増えれば増えるほど、心が育ち、考えを深め、話したい思いにあふれた英語授業が増えると思いますし、指導を受けることが出来た稲美町の先生方をとてもうらやましく思いました。
- 前任校で自分なりに考えながら追試させていただいたもらったつもりでしたが、やはり形だけになっていたことを痛感しましたが、今日の先生のお話を聞かせていただき、自分もこんな授業がしたいと改めて思いました。
- 講演会のお話について、改めて御本や紹介していただいたサイトで勉強していきたいと思います。ありがとうございます。
- 授業の映像や技能ツールなど、大変刺激を受けました。どんどん取り入れていきたいです。
- 生成AIの活用、ALTとのTT、マンダラートなど思考ツールの活用などヒントをたくさんいただきました。
- 中嶋先生、今回も多くの深い学びをありがとうございました。子どもたちの心を育て、相手への関心を深めるための思考ツール。このお言葉が特に胸に刺さりました。私もそのような子どもたちを育てるために、思考ツールを活用します。
- とても熱意のこもった分かりやすいお話でした。今後の活動づくりなどに役立ちそうです。
- 昨年度も中嶋先生からお話があったかと思うのですが、ALTに基本文集を作ってもらうと良いという話がありました。今年度トライしているのですが、基本文だけでは場面設定がなく、どうしようかと試行錯誤しています。例えば絵を入れたり、文法を使いながら会話形式にするなどの試行錯誤をしています。教科書巻末の全文法を用いて、中1にはA41枚など、シンプルに分かりやすい単語で作成しようと試みています。場面設定の良い方法などあれば知りたいです。"
- 英語力を向上するためには「連想力」「言い換え力」を鍛える必要があるという部分に深く感銘を受けました。どうしても教科書を教える授業になってしまうので、子供たちが伸び伸び発言できるような授業の雰囲気を作っていきたいです。
- マンダラチャートを使用することによって、用紙を見ずに、分かりやすく自分の考えを伝えられることが分かった。
- すべてのお話が深く、あっという間に時間が過ぎました。浮き輪を外すプロセスについてまだまだできていないことばかりです。マンダラートやマッピングを本当に意味のあるものにしたいのでこれから研鑽を積みながら取り組んでいこうと思います。技能を身につける授業を目指して勉強していきます。今日は本当にありがとうございました。
- 何も見ずに自分の意見を言えるようになるということは大切だと思いました。やってみようと思いました。
- 明日から頑張ります。また、来年度スタート時にも思い出します
- 最後の部分だけでなく、それまでに取り組むべき基礎も教えていただけたので系統立てて授業構成していきたいと刺激をもらいました。
- 講話の最後の、探求コーラルマップについてもっと知りたいです。
- マンダラチャートを実施する際に気をつけることや、マッピングをする際に生徒に伝えるべきこと、文法導入、教科書を素材として使うことの大切さを学んだ。
- 生徒が英語を話したくなるような仕掛けをたくさん取り入れ、生徒が前向きに取り組める授業を作るために、計画をしっかり立てたいと思いました。
- マッピングをより深く学びたいと思いました。
- 日頃の疑問に思うことの答えを得られた気持ちです。すぐに持ち帰って実践したいと思いました。
- 進行形の授業の一つ一つに衝撃を受けました。自分の授業を根本から見直す日になりました。ありがとうございました。
- "英語教育とは、という大きなくりの話だけでなく、明日から実践できるようなことも教えていただいたので、すごく参考になりました。
- また、ALTと授業を作り上げる中で目指す生徒像を共有することもとても大切だと感じました。"
- 生き生きとした授業だったり、熱い講話を聞いて、スイッチが入りました。今の自分の授業を改善していきたいと思って

います。

- 順序だてて説明をしてくださったので分かりやすかったです。なぜそうすべきなのか、なぜそうすべきではないのか、理由もよく分かり、学びの多い講演でした。今、スイッチが入った状態のうちに、自分の授業や教材研究の何かを変えたいです。
- 目標と目的を持って、授業計画していくこと、系統的に学校で技能シラバスを考えることについて、改めて考えさせられました。
- マンダラ・チャートの活用や帯学習の取組方法を考えてみようと思った。
- これまでに何度も先生のご講演を聴かせていただき、その度に多くの学びを得てきました。今回もまた自己研鑽を積み重ねなければと考えさせられました。明日からの授業をまた頑張れそうです。ありがとうございました。
- マンダラートを使うためのステップを確認できたことが一番の収穫でした。一度原点に戻って 基本文を徹底して確認するまた子供達が使えようにする手立ても必要だと感じました。
- "昨年度と重複する部分もあったが、使われているスライドは最新の内容だったし、中嶋先生の若かりし頃の実践を拝見できて、大変感動した。二十数年前でも、今流行りのデジタルでなくても、生徒たちはいきいきと英語を学んでいたし、意欲的に授業を受けていた。
- 「教科書を終えるためではなく、4技能を高めるためのシラバスを」というメッセージをこれからも大事にしていきたいと感じました。また、授業動画の中でも折り紙を使った現在進行形の授業は衝撃的で、大きな学びとなりました。ありがとうございました。
- 英語科教員が、日頃、悩んだり場合によっては言い訳したりしていることに、ズバッとメスを入れる、トドメをさしていただくお話だったと思います。手先のことばかりするのではなく、もっと目指す姿を明確にもち、その実現のために何をするのか、そうやってやっていくのが私たちの仕事だと強く思いました。前から思っていました、やはり今のままではだめだと強く思わせていただいたこと、ありがとうございました。
- マッピングによる英語での対話を自分が体験してみてよく理解しましたし体感できました。
- とても引き込まれました。早速、翌日の授業でハロウィンを話題にマンデラチャート→マッピングにつなげていきました。単語の学習にもなり、子どもたちは興味をもって取り組むことができたように感じます。現在完了のリアルな場面での導入は、ぜひ真似したいです。わたしが中嶋先生の講演に引き込まれてたように、子どもを惹きつける導入、展開に努めることを改めて決意できた会でした。
- 自分の中で、どうすればいいかと思っていた部分にちょうどひびくお答えをいただきました
- "思考ツールの詳しい活用の仕方がわかりました。
- 話を広げたり深めたりすることを授業の中で行っていますが、つなげることに難しさを感じていたため、マンダラチャートの活用でそれを解決できるかもしれないと突破口を生み出すことができました。ありがとうございました。
- 今からでも遅くないという言葉に明日からの授業から変化をつけていこう思えました。ありがとうございました
- 今日の講演で、どう生徒に考えさせるべきか明確に見えました。ありがとうございました。
- ヒントがたくさんいただけて、明日へのやる気がわいてくる講演でした。来てよかったです!ありがとうございました。
- マッピングを取り入れたいと思いました。同じトピックで複数回帯活動で行うのも楽しそうだと感じました。
- いつも勉強になり、取り入れたいことがたくさんありました。ありがとうございました。
- もう少し階層式マッピングを勉強してみたいと思いました。著書を拝読しても今一つイメージが掴めない。
- "以前お聞きしたことのある内容ではありましたが、どのように思考ツールを使用すると、生徒の思考の幅が広がるかなど、再確認出来た
- マンダラートの活用を知ることができたのが大きな学びになりました。また、基本文を徹底的に定着できるように指導することが必要であるということを知り、明日からの授業に活かしたいと思いました。
- 自分の授業をふり返って、これからすぐにでも変えていこうと思える内容でした。できることを明日から始めていきます。とてもよい勉強になりました。ありがとうございました。

- 2 回目ですが、とても面白かったです。明日からまた頑張ります。
- 自分には全くなかった切り口や考え方だったので参考にさせていただきます。
- 生徒主体の課題やめあての設定が必要であることを改めて思い、基本文の繰り返し定着と教えていただいた思考ツールを少しずつ実践していきたいと思いました。
- 例文を紹介したり、テストや練習問題を作成する際、内容がバラバラになりがちで、ずっと違和感を感じていた。マンダラチャート、マッピング、折り紙でコンテキストから文法を教えるは驚きでした。
- "非常に具体的で分かりやすく、すぐにでも取り入れられることがあるのは使いたいです。
- small talk, teachers talk や最初のエネルギーなど。
- マンダラチャートをこんなふうに使ってマッピングに繋げるのは、目からウロコでした。"
- マンダラート、マッピングのポイント、また、それを行うに当たっての大切な過程について学ぶことができました。
- 生徒にどのような力をつけさせたいか、生徒自身の思いや考えをどのように引き出していくかを考えて今後の授業に取りいてたいと思いました。系統的な指導を実現するために英語科で協働できるようにしたいとも思いました。
- 多くのことを学び考えることができました。ありがとうございました。"
- 思考ツールを使った授業構成が勉強になりました。
- 授業後に、講演を聞かせていただくことによりマンダラチャートの適切な使い方あつての言語活動であるということを理解することができました。
- 授業のデザインをもっとかんがえていかなければならないと感じた。思考ツールについてなど教えていただいたことを取り入れたい。まずは基本のところを取り入れていきます。
- "Authentic で生徒がわくわくする授業をすることが肝だと改めて気付かせて頂きました。
- 本で詳しく読みたいと思いました
- これで中嶋先生の講演を見るのは 4 回目になります。いつも伝えたいことは変わらず、それでも内容が変わっているの、見ていて学びが多いです。生徒との関わりの中で授業をする大切さを感じました。
- マンダラ、マッピングの活用方法を理解できたので、実践していきたいと思います。また今日来られなかった職員に伝えようと思います。
- スピード感がまさに言語の先生という感じで引き込まれました。ありがとうございました。実践がんばります。
- いつもながら、本質をついた、それでいて心が動くご講演に感謝です。必ず、生徒の心を育てる英語教育を、所属の自治体で実現させるぞ!と改めて決心いたしました。ありがとうございました、
- 生徒の自分でできるようになりたいという思いを、授業の中で実現させることができているのか、考えさせられました。最初に示していただいた、教師が子供に浮き輪を無理やり使わそうとしているイラストを見て、ドキッとしました。また、言語活動を行うことが目的化していないか、という視点にもドキッとしました。「つけたい力」がまず先にあり、そのため手段として行うのが言語活動ということで、そのことは常にわすれないようにしたいと感じました。教科書は素材であること。そして、それを目の前の生徒に合わせてアレンジすること。大事にしたい視点でした。当時の授業映像を視聴させていただき、ありがたかったです。なかよう備忘録でも拝見しておりましたが、蒔田先生の「折り紙」の授業の実際の映像、そしてその状況設定の凄さを詳細に解説いただき、オーセンティックな授業とはどういうものか、腑に落ちました。講演の全てを通して、目の前の生徒のためにより価値のある授業をしたいと強く思いました。今日の学びを同僚にも共有し、生徒たちに還元できるようにします。中嶋先生、本当にありがとうございました。
- マッピングから英語を話すところを実際に体験することができ、指導する際のイメージが持てた。
- 楽しいご講演でした。さっそく翌日、【自分事】についてスピーキング活動をさせてみたところ、苦手意識を持つ子も、どんどん話していました。話したい、やりたい、と感じる仕掛けをもっと仕掛けていきたいと思いました。